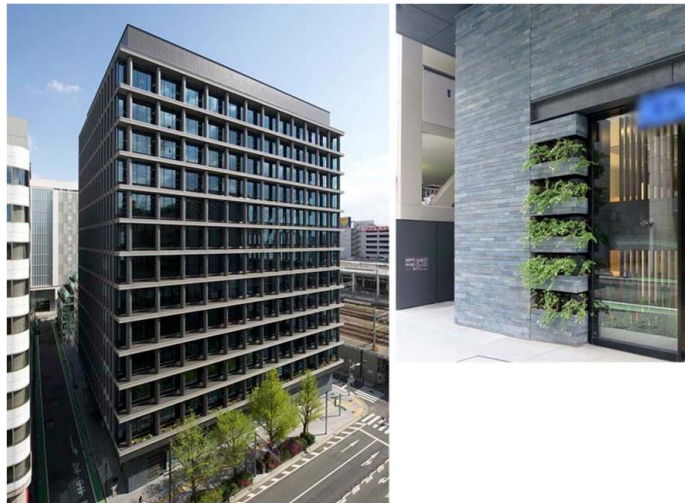
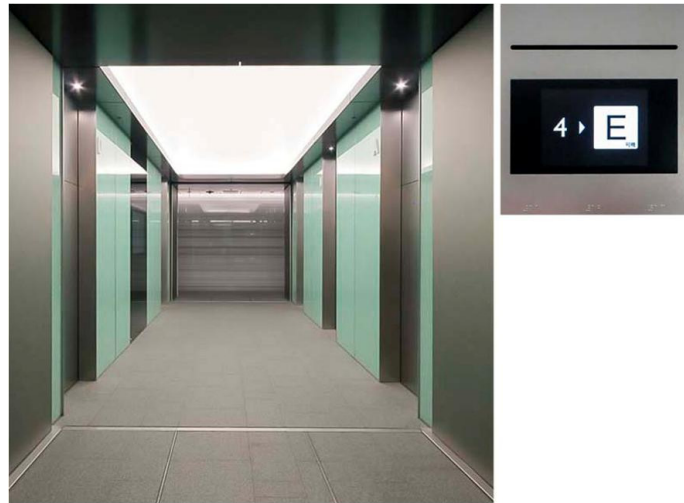


外観



博多駅から徒歩約3分、博多駅中央街南西エリアの好立地に位置する、地下1階、地上13階のオフィスビル。低層階は、落ち着いた雰囲気の外装タイルとグリーンポットがアクセントとなっている。

エトランス・エレベーターホール



混雑緩和のため、エレベーターホールのエトランスには「エレベーター行先予報システム」を採用。乗車前に行先階を登録すれば、表示された乗車号機で、行き先ボタンを押さずに移動できるしくみとなっている。

基準階 男性トイレ 小便器コーナー・大便器ブース



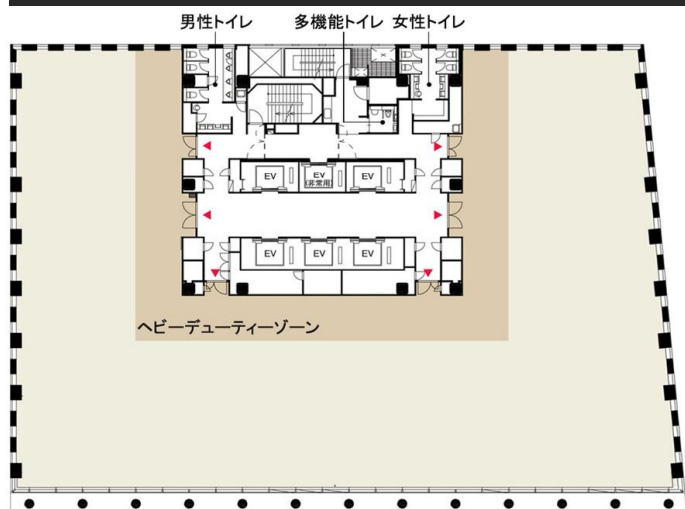
床の清掃性や節水性に優れた壁掛式自動洗浄小便器を採用。すべての大便器にウォシュレットを設置。リモコンは、ボタンを押すたびに発電し、乾電池交換や電源工事が不要なエコリモコンを採用している。

基準階 男性トイレ 洗面コーナー



白を基調とした明るくリフレッシュできる洗面空間。全身の身だしなみチェックができる全身鏡を、入口近くに設置している。

基準階 平面図



オフィスフロアのレイアウト自由度を重視し、柱、エレベーター、トイレなど共用部設備を1ヶ所に集中。トイレは柱を取り込みながらも、レイアウトを工夫して必要な機能を配置している。

基準階 女性トイレ 全体



動線と空間の活用から、通路両側に洗面コーナー、奥にトイレブースを配置。手洗い後の床への水はねを抑える配慮として洗面器の間に、温風乾燥機を併設している。

基準階 多機能トイレ



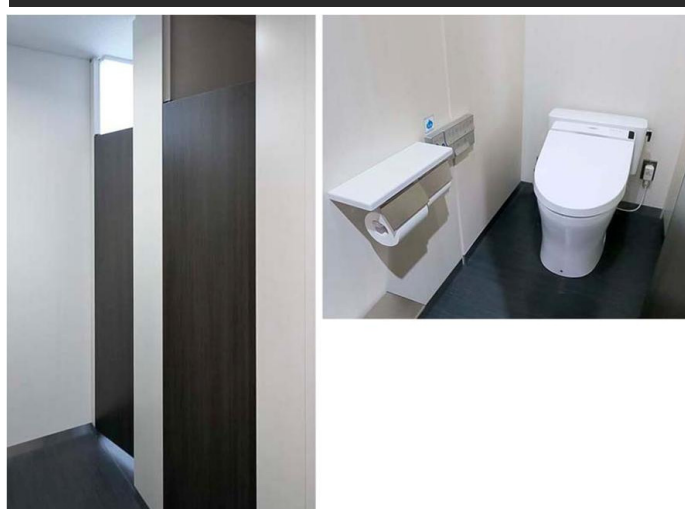
車いす使用者やオストメイトを配慮して、コンパクト多機能トイレパックを各階に設置。障がい者雇用促進を受け、多様なオフィスワーカーに対応できる設備を完備している。

2Fリフレッシュルーム



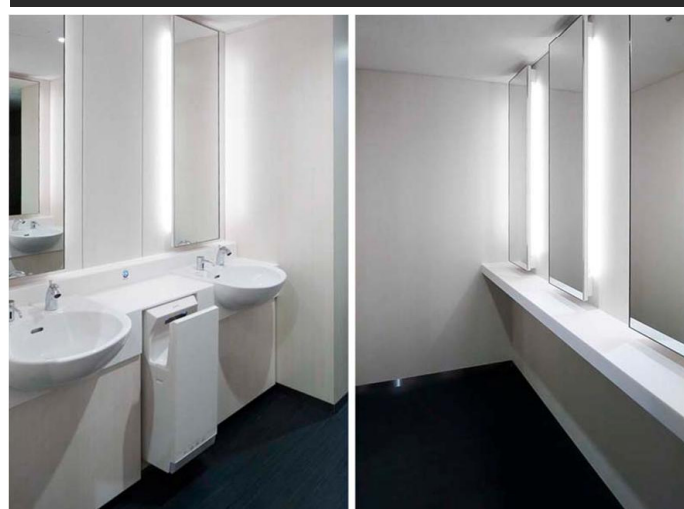
さまざまなオフィスワーカーが打ち合わせや休憩などに利用する、コンビニ自動販売機などを設けた共用のリフレッシュルームを2Fに設置。喫煙ルーム・バルコニーのほかトイレも含め、共用設備が集約されている。

基準階 女性トイレ 大便器ブース



未使用時のブース扉は少し開いて留まる設定がされ、空き状況がひと目で確認できる。大便器は、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。昼休み時の混雑緩和に配慮されている。

基準階 女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー



床への水はねを抑える配慮として洗面器の間に、温風乾燥機を併設。また、混雑緩和のため、洗面コーナーとは別にスタイリングコーナーを設置。顔映りに配慮した照明付化粧鏡を採用している。

建築概要

名称	紙与博多中央ビル
所在地	福岡市博多区博多駅中央街7番21号
施主	紙与不動産株式会社
設計	株式会社日建設計
施工	鹿島建設株式会社
竣工年月	2018年4月

水まわりの特長

<建物の特徴>
「紙与博多中央ビル」は、2018年4月、日本各地・世界へとつながる九州の玄関口「博多」に竣工した高品質なオフィスビルである。災害に備える充実のBCP対応を誇り、異系統の2回線受電や非常用発電機、1Fと2Fの間に免震機能を設けた中間層免震構造、浸水対策など、優れた設備でビル入居者の事業継続を支援する。また、LED照明や断熱性の高い外装窓を採用した省エネ性能を完備。1フロア約1,047㎡(約317坪)、天井高2.8mの開放的な無柱空間で、フレキシブルなフロア分割プランが可能。2Fにはさまざまな人が集える共用のリフレッシュルームを設置。オフィスワーカーが、安全で快適に仕事ができる職場環境を創出している。

<トイレの特長>
さまざまなオフィスワーカーが利用することを想定し、車いす使用者やオストメイトに配慮した、コンパクト多機能トイレパックを各階に設置。男女トイレには、節水・メンテナンスのしやすさを重視し、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式(掃除口付)や電源工事・電池交換不要のエコリモコンを採用。また、過去の大規模な漏水経験を踏まえ、屋上で集水した雨水をろ過し、トイレの洗浄水として再利用できる機能も備えた。オフィスワーカー・管理者の立場を考慮した、快適かつ機能的なオフィスタイルとなっている。